

注3

大学番号：公002

[平成25年度設置]

計画の区分：大学設置

注1

認可

秋田公立美術大学 美術学部 美術学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人秋田公立美術大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局 事務局総務課

職名・氏名 シュセキシュサ サトウアケミ
主席主査・佐藤朱美

電話番号 018-888-8100

(夜間) 018-888-8100

F A X 018-888-8101

e-mail soumu@nts.akibi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

美術学部

<美術学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人秋田公立美術大学

(2) 大学名

秋田公立美術大学

(3) 大学の位置

〒010-1632

秋田県秋田市新屋大川町12番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒダ トヨジロウ) 樋田 豊次郎 (平成25年4月1日)	(シモトリ アキノリ) 霜鳥 秋則 (平成27年4月1日)	任期満了 平成27年3月31日(27)
学長	(ヒダ トヨジロウ) 樋田 豊次郎 (平成25年4月1日)	(シモトリ アキノリ) 霜鳥 秋則 (平成27年4月1日)	任期満了 平成27年3月31日(27)
学部長	(イワイ シゲアキ) 岩井 成昭 (平成25年4月1日)	(イワイ シゲアキ) 岩井 成昭 (平成25年4月1日)	再任 平成27年4月1日(27)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 美術学科 学士(美術)	4年	100人	10人 年次人	420人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	100 (10) [—]	— (—) [—]	100 (10) [—]	— (—) [—]	100 (10) [—]	— (—) [—]	1.04倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	391 (31) [—]	— (—) [—]	403 (28) [—]	— (—) [—]	391 8 [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	323 (30) [—]	— (—) [—]	307 (27) [—]	— (—) [—]	299 7 [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	119 (10) [—]	— (—) [—]	121 (12) [—]	— (—) [—]	118 4 [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	106 (10) [—]	— (—) [—]	102 (9) [—]	— (—) [—]	104 3 [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		1.06		1.02		1.04				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は

「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 106	[-] (-) -	[-] (-) 102	[-] (-) -	[-] (-) 104	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 106	[-] (-) -	[-] (4) 106	[-] (-) -	
3年次			[-] (-) 10	[-] (-) -	[-] (-) 9	[-] (-) -	[-] (-) 103	[-] (-) -	
4年次	/		/		[-] (-) 10	[-] (-) -	[-] (1) 10	[-] (-) -	
計					[-] (-)	[-] (-) 116	[-] (-) 227	[-] (5) 323	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	0人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	116人	3人	平成25年度	0人	0人		0.0258621 %
			平成26年度	3人	0人	就学意欲の低下	
			平成27年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	111人	0人	平成26年度	0人	0人		0 %
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	107人	0人	平成27年度	0人	0人		0 %
合計	334人	3人					0.008982 %

0.025862

0.006466

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<美術学部美術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養科目	人間と社会	哲学	1・2前	2								兼1	2名でのオムニバスに変更 (27) 複数の教員の専門性を生かしてより質の高い授業内容とするためオムニバスに変更 (26)		
	法学 (日本国憲法)	1・2前	2									兼1			
	科学と人間	1・2前	2									兼1			
	日本文学	1・2後	2									兼1			
	心理学	1・2後	2									兼1			
	国際関係論	2・3前	2									兼1			
	環境と生態	2・3前	2									兼2 兼3 兼4			
	文芸演習	2・3後	1				1								
	歴史と文化	東北造形史	1前	2			2	1							兼1
		日本史	1・2前	2											兼1
東北生活文化論		1・2前	2					1					兼1		
生活とデザイン		1・2後	2			1							兼1		
食文化論		2前	2										兼1		
文化人類学		2後 2前	2						1				開講時期の調整 (26)		
文化人類学特論		3・4前	2						1				兼1		
異文化コミュニケーション論		3・4前	2										兼1		
外国語	総合英語 1	1前	1				1								
	総合英語 2	1後	1				1								
	総合英語 3	2・3前	1				1								
	総合英語 4	2・3後	1				1								
	英会話 1	1・2前	1										兼1		
	英会話 2	1・2後	1										兼1		
	韓国語 1	1・2前	1										兼1		
	韓国語 2	1・2後	1										兼1		
	中国語 1	2・3前	1										兼1		
	中国語 2	2・3後	1										兼1		
情報	プログラミング入門	2・3前		2		1									
	プログラミング演習 1	2・3前		1		1									
	プログラミング演習 2	2・3後		1		1									
	情報数学入門	2・3後		2		1									
保健体育	スポーツと健康 1	1・2前		1									兼1		
	スポーツと健康 2	1・2後		1									兼1		
キャリア教育科目	情報リテラシー 1	1前	1			1									
	美術の社会実践論	1・2前		2									兼1		
	日本語表現演習	1・2前		1									兼1		
	情報リテラシー 2	1後		1		1							兼1		
	起業論	2・3前		2									兼1		
	キャリアデザイン 1	2前 2後	2			1							開講時期の調整 (26)		
	プレゼンテーション演習 1	2後		1		1									
	キャリアデザイン 2	3前		2		1									

		学外実習 (インターンシップ)	3前	2	1	4								
		地域プロジェクト演習	3前 未開講 3前	1	1	2		1						通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論A (7-ツ&ル-ツ、景観デザイン)	1後	2		3							
		現代芸術論B (ものづくりデザイン)	1後	2		2								
現代芸術論C(ビジュアル7-ツ)		2前	2			2								
現代芸術論D(コミュニケーションデザイン)		2前	2			2								
現代芸術演習A1(7-ツ&ル-ツ)		2後		1		3	1		2					
現代芸術演習A2(景観デザイン)		2後		1		1	2		1					
現代芸術演習B(ものづくりデザイン)		2後		1		1	3		2	4				
現代芸術演習C(ビジュアル7-ツ)		2後		1		3	3		1	2				
現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン)		2後		1		2	4			2				
専門基礎科目	導入科目	素描表現	1前	1			2		1	1				
		塑造表現 1	1前		2		1							
		色彩論	1前	2			1							
		図学・製図演習	1前		2		1			1				
		写真基礎演習	1前		1								兼1	
		コンピュータ表現基礎	1前		1		2		1					
		英語による現代美術評論 1	1・2前		2									兼1
		デザインスケッチ演習	1後		1		1				1			
		絵画材料演習	1後		1		1							
		構成演習	1後		2			2			1			
		デザイン基礎演習	1後		2		1				1			
		コンピュータ表現演習	1後		1			2						
		工芸演習 1 (教職課程)	1後		2			1			1			
		工芸演習 2 (教職課程)	1後		2						1			
		専門基礎科目	美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	1前	2		1	1					
東洋美術史	1・2前				2		1							
工芸概論	1・2後 1・2前				2		1						兼1	開講時期の調整、専任教員の退職に伴い、非常勤講師が担当 (27)
デザイン史	1・2後				2		1							
日本美術史	1・2後			2			1							
西洋美術史	1・2後				2									
近代絵画史	1・2後				2		1							
デザイン史特講	2・3前				2		1							
日本建築史 1	2・3前				2		1							
日本彫刻史	2・3前				2			1						
日本建築史 2	2・3後				2		1							
近代装飾デザイン史	3・4前 未開講 3・4前				2		1							通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
シルクロード図像学 1	3・4前				2			1						
建築史演習	3・4前 未開講 3・4前				1		1							通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
近代建築史特講	3・4前				2		1							
近代デザイン史特講	3・4後		2		1									
シルクロード図像学 2	3・4後		2			1								
専門基礎科目	彫刻原論	彫刻原論	1通 4前		2					1		兼1	開講時期の調整 (26)	
		日本画基礎演習	2前		1		1			1				
		油画基礎演習	2前		1		1	1			1			

	彫刻基礎演習	2前 2後	1		1			1	開講時期の調整 (27) 開講時期の調整 (26)
	素材と表現	2前	2	2	3		2	3	
	ものづくり製図演習	2前	1	1				1	
	DTPデザイン演習	2前	1		1			1	
	映像デザイン基礎	2前	1					1	兼2
	構成論	2前	2		1				
	英語による現代美術評論 2	2・3前	2						兼1
	塑造表現 2	2・3後	2		1			1	
	彫刻素材基礎演習	2・3前 2・3後	1	1				1	開講時期の調整 (26)
	現代絵画基礎演習	2・3後	1		1			1	
	インスタレーション基礎演習	2・3前 2・3後	1	1					開講時期の調整 (26)
	パフォーマンス基礎演習	2・3前 2・3後	1		1				開講時期の調整 (26)
	テキスタイル表現基礎演習	2・3後	1		1				
	イラストレーション基礎演習	2・3前 2・3後	1	1					開講時期の調整 (26)
	メディアアート基礎演習	2・3後 2・3通	2				1	1	開講時期の調整 (27) 開講時期の調整 (26)
	ウェブデザイン基礎演習	2・3後	1		1				
	タイポグラフィ基礎演習	2・3後	1	1					
	デザインサーベイ	2・3後	1		1		1		
	建築モデル演習	2・3後	1		1			1	
	商品計画演習	2・3後	1	1				1	
	デザインワークショップ演習	2・3後	1				1	1	
	地域産業とデザイン	2・3後	2	1					
	知的財産と運用	2・3前 未開講 2・3前 2・3後	2						開講時期の調整により通常開講 (26) 担当する非常勤教員との調整により25年度前期に変更したが、履修希望者がいなかったことから未開講 (25)
	造形表現基礎 (デッサン) (教職課程)	2・3後	1	1					
	絵画 1 (教職課程)	2・3後	1	1					
	色彩演習	3前 未開講	1		1				通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
	絵画2 (教職課程)	3前 未開講	1	1					通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
	絵画表現演習 1 (教職課程)	3前 未開講	1	1					通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
	ブックデザイン	3後	1		1			1	
	絵画表現演習 2 (教職課程)	3・4後	1	1					
専門専攻科目	アーツ&ルーツ演習 1	3前	8		3	1		2	
	アーツ&ルーツ演習 2	3後	6		3	1		2	
	アートプロジェクト演習	3後	2		3	1		2	
	アーツ&ルーツ演習 3	4前	8		3	1		2	
ビジュアル	ビジュアルアーツ演習 1	3前	8	3	3		1	2	
	古美術研究	3前 3後	2	1	1				開講時期の調整 (26)

IT専攻科目	ビジュアルアーツ演習 2	3後	8	3	3	1	2	
	ビジュアルアーツ演習 3	4前	6	3	3	1	2	
ものづくりデザイン専攻科目	ものづくりデザイン演習 1 A(彫金)	3前	3		1		1	
	ものづくりデザイン演習 1 B(ガラス)	3前 未開講 3前	3	1			1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	ものづくりデザイン演習 1 C(陶芸)	3前 未開講 3前	3			1	1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	ものづくりデザイン演習 1 D(漆)	3前 未開講 3前	3		1		1	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	ものづくりデザイン演習 1 E(木工)	3前 未開講 3前	3	1	1		1	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	ものづくりデザイン演習 1 F(染)	3前	3			1		
	ものづくりデザイン演習 1 G(家具)	3前 未開講 3前	3	2			1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	地域産業研究	3前 未開講 3前	1	3	3		2	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	プロダクトデザイン演習	3前	1	1			1	
	2D・3D CAD演習	3前	1	1			1	
	プレゼンテーション演習 2	3前	1	1				
	ものづくりデザイン演習 2 A(彫金)	3後	4		1		1	
	ものづくりデザイン演習 2 B(ガラス)	3後	4	1			1	
	ものづくりデザイン演習 2 C(陶芸)	3後	4			1	1	
	ものづくりデザイン演習 2 D(漆)	3後	4		1		1	
	ものづくりデザイン演習 2 E(木工)	3後	4	1	1		1	
	ものづくりデザイン演習 2 F(染)	3後	4			1		
	ものづくりデザイン演習 2 G(椅子)	3後	4	2			1	
	ものづくりデザイン演習 3	4前 未開講 4前	6	3	3		2	4
コミュニケーションデザイン専攻科目	コミュニケーションデザイン論	3前	2		1			
	ウェブデザイン論	3前	2		1			
	映像デザイン演習	3前 未開講 3前	1		1		1	通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	3D・CG表現演習 1	3前	1				1	兼1 兼3 複数の教員の専門性を生かした授業内容とするためオムニバスとしたが、当該非常勤講師のみで同等の授業が可能であり、また、授業の一貫性、継続性が高まるためオムニバスから変更 (26)
	コミュニケーションデザイン演習 1A(タイポグラフィ)	3前	2	1			1	
コミュニケーションデザイン演習 1B(ポスター)	3前	2		1		1		
コミュニケーションデザイン演習 1C(イラストレーション)	3前 未開講 3前	2	1			1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)	

	教育相談	3・4前 未開講 3-4前			2					兼1 兼3	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 教職課程認定申請にかかる指導により、当初の3名から兼任教員1名に変更 (25)
	生徒指導・進路指導	3・4前 未開講 3-4前			2					兼1	通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26)
	特別活動の理論と方法	3・4前 未開講 3-4前			2	1					通常開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	教育実習事前事後指導	4通 未開講 4通			1	1	2				通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	教育実習 1	4通 未開講 4通			2	1	2				通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	教育実習 2	4通 未開講 4通			2	1	2				通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
	教職実践演習(中・高)	4後 未開講 4後			2	1	2				通常開講 (27) 履修希望者がいなかったため未開講 (26) 履修希望者がいなかったため未開講 (25)
博物館学芸員課程科目	生涯学習概論	1・2・3後			2					兼1	
	博物館概論	1・2・3前 1-2-3後			2	1					開講時期の調整 (26)
	博物館教育論	1・2・3後			2	1					
	博物館資料論	2・3・4前			2	1					
	博物館資料保存論	2・3・4前			2	1					
	博物館情報・メディア論	2・3・4前			2					兼1	
	博物館経営論	2・3前 2-3後			2					兼1	開講時期の調整 (27)
	博物館展示論	2・3後			2	1					
	博物館実習	3・4通			3	1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
15	152	29	196	15	152	29	196	変更無し
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{196}$$

=

0

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	35,913.38㎡	0㎡	0㎡	35,913.38㎡				
	運動場用地	7,750.00㎡	0㎡	0㎡	7,750.00㎡				
	小 計	43,663.38㎡	0㎡	0㎡	43,663.38㎡				
	そ の 他	3,395.58㎡ 3,370.62㎡	0㎡	0㎡	3,395.58㎡ 3,370.62㎡	登記に伴う面積の誤差 (26)			
	合 計	47,058.96㎡ 47,034.62㎡	0㎡	0㎡	47,058.96㎡ 47,034.62㎡	登記に伴う面積の誤差 (26)			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		18,563.34㎡ 18,522.56㎡ 18,243.94㎡	㎡	㎡	18,563.34㎡ 18,522.56㎡ 18,243.94㎡	改築に伴う増(27) 登記に伴う面積の誤差 (26)			
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	5室		14室 17室	39室	7室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)	用途変更による減(26)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	美術学部 美術学科			(例) 4 1 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	美術学部	44,751 [8,101] 46,073 [7,766]	96 [32] (96 [32])	1 [1] (1 [1])	1,209 1,248	3,696 (3,537)	0 (0)		
計	44,751 [8,101] 46,073 [7,766]	96 [32] (96 [32])	1 [1] (1 [1])	1,209 1,248	3,696 (3,537)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,194.41㎡		137		108,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,099.15㎡ 1,113.27㎡		テニスコート 1 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	270千円	270千円	図書購入費	2,796千円	5,952千円	5,952千円	
	共 同 研 究 費 等	2,730千円	2,730千円	設備購入費	46,723千円	10,112千円	10,112千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	①域内の者(入学前の一定期間、継続して秋田市に住所を有する者) ②域外の者(①以外の者)	
		①818千円 ②959千円	536千円	536千円	536千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			市からの運営費交付金収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	秋田公立美術工芸短期大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
工芸美術学科	年	人	年次 人	人		倍			
	2	—	—	—		—	平成7年度	秋田県秋田市新屋大川町12番3号	※平成25年度より学生募集停止
産業デザイン学科	2	—	—	—		—	平成7年度	秋田県秋田市新屋大川町12番3号	※平成25年度より学生募集停止

大学 の 名 称	秋田公立美術大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
美術学部	年	人	年次 人	人		倍			
	4	100	10	420	美術学士	1.04	平成25年度	秋田県秋田市新屋大川町12番3号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<美術学部 美術学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長)	樋田 豊次郎 (62)	平成25年4月	工芸概論	兼任	講師	木田 拓也 (45)	平成27年4月	工芸概論	平成27年3月、樋田教授(学長)の任期満了に伴う辞任のため、担当者の変更
専	教授	渡邊 有一 (64)	平成25年4月	デザイン基礎演習 現代芸術演習A2(景観デザイン) 商品計画演習 キャリアデザイン1 地域プロジェクト演習 景観デザイン演習1 景観デザイン演習2 景観デザイン演習3 卒業研究						
専	教授	松本 研一 (62)	平成25年4月	現代芸術論B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習1G(家具) ものづくりデザイン演習2G(椅子) ものづくりデザイン演習3 卒業研究						
専	教授	五十嵐 潤 (61)	平成25年4月	生活とデザイン 地域産業とデザイン						
専	教授	官能 右泰 (58)	平成25年4月	プレゼンテーション演習1 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) タイポグラフィ基礎演習 学外実習(インターシップ) コミュニケーションデザイン演習1A(身体グラフィ) コミュニケーションデザイン演習2A(身体グラフィ) 卒業研究						
専	教授	島屋 純晴 (57)	平成25年4月	現代芸術演習C(ビジュアル7-7) 彫刻素材基礎演習 ビジュアルアーツ演習1 ビジュアルアーツ演習2 ビジュアルアーツ演習3 卒業研究						
専	教授	澤田 享 (56)	平成25年4月	東北造形史 日本建築史1 日本建築史2 建築史演習 近代建築史特講 古美術研究						
専	教授	小田 英之 (56)	平成25年4月	油画基礎演習 イラストレーション基礎演習 現代芸術演習C(ビジュアル7-7) 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) ビジュアルアーツ演習1 コミュニケーションデザイン演習1C(イラストレーション) ビジュアルアーツ演習2 ビジュアルアーツ演習3 卒業研究						
専	教授	鈴木 司 (55)	平成25年4月	絵画材料演習 造形表現基礎(デッサン)(教職課程) 絵画1(教職課程) 絵画2(教職課程) 絵画表現演習1(教職課程) 絵画表現演習2(教職課程)						
専	教授	天貝 義教 (54)	平成25年4月	美術理論・美術史 デザイン史 デザイン史特講 近代装飾デザイン史 近代デザイン史特講						
専	教授	野村 松信 (53)	平成25年4月	情報リテラシー1 情報リテラシー2 プログラミング入門 プログラミング演習1 プログラミング演習2 情報数学入門						

専	教授	小車 禮 尊人 (50)	平成25年 4 月	素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習 1B(ガラス) ものづくりデザイン演習 2B(ガラス) ものづくりデザイン演習 3 卒業研究							
専	教授	岩井 成昭 (50)	平成25年 4 月	現代芸術演習C(ビジュアル77) インスタレーション基礎演習 ビジュアルアーツ演習 1 ビジュアルアーツ演習 2 ビジュアルアーツ演習 3 卒業研究							
専	教授	毛内 嘉威 (48)	平成25年 4 月	道徳教育 特別活動の理論と方法 教育実習事前事後指導 教育実習 1 教育実習 2 教職実践演習 (中・高)							
専	教授	今中 隆介 (47)	平成25年 4 月	現代芸術論B(ものづくりデザイン) ものづくり製図演習 素材と表現 キャリアデザイン 2 ものづくりデザイン演習 1E(木工) ものづくりデザイン演習 1G(家具) 地域産業研究 プロダクトデザイン演習 2D・3D CAD演習 プレゼンテーション演習 2 ものづくりデザイン演習 2E(木工) ものづくりデザイン演習 2G(椅子) ものづくりデザイン演習 3 卒業研究							
専	教授	志邨 匠子 (46)	平成25年 4 月	東北造形史 日本美術史 近代絵画史 博物館概論 博物館教育論 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館実習							
専	准教授	金 孝卿 (53)	平成25年 4 月	色彩論 構成演習 構成論 色彩演習							
専	准教授	大八木 敦彦 (52)	平成25年 4 月	総合英語 1 総合英語 2 総合英語 3 総合英語 4 文芸演習							
専	准教授	坂本 憲信 (51)	平成25年 4 月	コンピュータ表現基礎 デザインスケッチ演習 コンピュータ表現演習 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) 映像デザイン演習 学外実習(インターシップ) コミュニケーションデザイン演習 1B(ホースター) コミュニケーションデザイン演習 2B(ホースター) 卒業研究							
専	准教授	尾澤 勇 (49)	平成25年 4 月	美術科教育法概論 工芸科教育法概論 美術科指導法 美術科指導法演習 工芸科指導法 教育実習事前事後指導 教育実習 1 教育実習 2 教職実践演習 (中・高)							
専	准教授	安藤 康裕 (48)	平成25年 4 月	素描表現 素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習 1A(彫金) ものづくりデザイン演習 2A(彫金) ものづくりデザイン演習 3 卒業研究							
専	准教授	井上 豪 (45)	平成25年 4 月	東北造形史 東洋美術史 美術理論・美術史 日本彫刻史 シルクロード図像学 1 シルクロード図像学 2 古美術研究							

専	准教授	水田 圭 (44)	平成25年4月	DTPデザイン演習 現代芸術論D(コミュニケーションデザイン) 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) コミュニケーションデザイン論 学外実習(インターシップ) フックデザイン コミュニケーションデザイン演習1F(エディトリアルデザイン) コミュニケーションデザイン演習2F(エディトリアルデザイン) 卒業研究						
専	准教授	高嶺 格 (45)	平成25年4月	現代芸術論C(ビジュアル7-7) 現代芸術演習C(ビジュアル7-7) パフォーマンス基礎演習 ビジュアルアーツ演習1 ビジュアルアーツ演習2 ビジュアルアーツ演習3 卒業研究						
専	准教授	皆川 嘉博 (44)	平成25年4月	塑造表現1 現代芸術演習A1(7-7&8-7) 塑造表現2 アーツ&ルーツ演習1 アーツ&ルーツ演習2 アートプロジェクト演習 アーツ&ルーツ演習3 卒業研究						
専	准教授	山岡 惇 (44)	平成25年4月	工芸演習1(教職課程) 素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習1E(木工) ものづくりデザイン演習2E(木工) ものづくりデザイン演習3 卒業研究						
専	准教授	孔 鎮烈 (44)	平成25年4月	コンピュータ表現基礎 コンピュータ表現演習 構成演習 学外実習(インターシップ) 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) コミュニケーションデザイン演習1D(パッケージデザイン) コミュニケーションデザイン演習2D(パッケージデザイン) 卒業研究						
専	准教授	長沢 桂一 (43)	平成25年4月	現代芸術演習C(ビジュアル7-7) テキスタイル表現基礎演習 ビジュアルアーツ演習1 ビジュアルアーツ演習2 ビジュアルアーツ演習3 卒業研究						
専	准教授	山内 貴博 (42)	平成25年4月	図学・製図演習 現代芸術論A(7-7&8-7、景観デザイン) 現代芸術演習A2(景観デザイン) デザインサーベイ 地域プロジェクト演習 景観デザイン演習1 景観デザイン論 CAD演習2(景観) 景観デザイン演習2 景観デザイン演習3 卒業研究						
専	准教授	斐 鎮爽 (41)	平成25年4月	現代芸術論D(コミュニケーションデザイン) 現代芸術演習D(コミュニケーションデザイン) ウェブデザイン基礎演習 ウェブデザイン論 学外実習(インターシップ) コミュニケーションデザイン演習1E(ウェブデザイン) コミュニケーションデザイン演習2E(ウェブデザイン) 卒業研究						

専	准教授	池亀 直子 (41)	平成25年 4月	教職論 教育学原論 1 教育課程・方法論 教育学原論 2 教育実習事前事後指導 教育実習 1 教育実習 2 教職実践演習(中・高)	専	准教授	池亀 直子 (41)	平成25年 4月	教職論 教育学原論 1 教育学原論 2 教育実習事前事後指導 教育実習 1 教育実習 2 教職実践演習(中・高)	教職課程認定申請にかかる 委員会判定により、「教育 課程・方法論」が不可と なったため、削除。 同じく教職課程認定申請 にかかる委員会判定・指示 により「教育学原論1・ 2」については、非常勤講 師とのオムニバスに変更 なお、オムニバスに変更 した「教育学原論1・2」 については、平成25年1月 教員審査済
					兼任	講師	平野 朝久 (62)	平成25年 4月	教育課程・方法論	教職課程認定申請にかかる 委員会判定により、「教育 課程・方法論」の担当を変 更
					兼任	講師	小林 建一 (64)	平成25年 4月	教育学原論 1	教職課程認定申請にかかる 委員会判定により、「教育 原論1」について当該非常 勤講師と池亀准教授とのオ ムニバスに変更
					兼任	講師	紺野 祐 (45)	平成26年10月	教育学原論 2	教職課程認定申請にかかる 委員会判定により、「教育 原論2」について当該非常 勤講師と池亀准教授とのオ ムニバスに変更。就任予定 年月は、授業開始期
専	准教授	熊谷 晃 (41)	平成25年 4月	素描表現 素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習 1D(漆) ものづくりデザイン演習 2D(漆) ものづくりデザイン演習 3 卒業研究						
専	准教授	芝山 昌也 (40)	平成25年 4月	現代芸術論A (7-7&8-7、景観デザイン) 彫刻基礎演習 現代芸術演習A1(7-7&8-7) アーツ&ルーツ演習 1 アーツ&ルーツ演習 2 アートプロジェクト演習 アーツ&ルーツ演習 3 卒業研究	専	教授	藤 浩志 (54)	平成26年10月	現代芸術論A (7-7&8-7、景観デザイン) 彫刻基礎演習 現代芸術演習A1(7-7&8-7) アーツ&ルーツ演習 2 アートプロジェクト演習 卒業研究	平成26年6月6日、教員審査 済(26)
					兼任	講師	芝山 昌也 (42)	平成27年4月	アーツ&ルーツ演習 1 アーツ&ルーツ演習 3	平成26年10月、他大学へ転 任
専	准教授	山本 太郎 (38)	平成25年 4月	日本画基礎演習 現代芸術演習A1(7-7&8-7) アーツ&ルーツ演習 1 アーツ&ルーツ演習 2 アートプロジェクト演習 アーツ&ルーツ演習 3 卒業研究						
専	准教授	大谷 有花 (35)	平成25年 4月	油画基礎演習 現代芸術論C(ビジュアル7-7) 現代芸術演習C(ビジュアル7-7) 現代絵画基礎演習 ビジュアルアーツ演習 1 ビジュアルアーツ演習 2 ビジュアルアーツ演習 3 卒業研究						
専	准教授	小杉 栄次郎 (44)	平成25年 4月	現代芸術論A (7-7&8-7、景観デザイン) 現代芸術演習A2(景観デザイン) 建築モデル演習 地域プロジェクト演習 景観デザイン演習 1 CAD演習 1(建築) 景観デザイン演習 2 景観デザイン演習 3 卒業研究						
専	講師	石倉 敏明 (38)	平成25年 4月	東北生活文化論 文化人類学 現代芸術演習A1(7-7&8-7) 文化人類学特論 アーツ&ルーツ演習 1 アーツ&ルーツ演習 2 アートプロジェクト演習 アーツ&ルーツ演習 3 卒業研究						

専	助教	安藤 郁子 (43)	平成25年4月	工芸演習2(教職課程) 素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習1C(陶芸) ものづくりデザイン演習2C(陶芸) ものづくりデザイン演習3 卒業研究						
専	助教	森 香織 (39)	平成25年4月	素描表現 素材と表現 現代芸術演習B(ものづくりデザイン) 地域産業研究 ものづくりデザイン演習1F(染) ものづくりデザイン演習2F(染) ものづくりデザイン演習3 卒業研究						
専	助教	阿部 由布子 (34)	平成25年4月	コンピュータ表現基礎 メディアアート基礎演習 現代芸術演習C(ビジュアル) ビジュアルアーツ演習1 ビジュアルアーツ演習2 ビジュアルアーツ演習3 卒業研究						
専	助教	菅原 香織 (50)	平成25年4月	デザインワークショップ演習 デザインサーベイ 地域プロジェクト演習						
兼任	講師	銭谷 秋生 (60)	平成25年4月	哲学						
兼任	講師	池村 好道 (59)	平成25年4月	法学(日本国憲法)						
兼任	講師	石井 照久 (49)	平成25年4月	科学と人間						
兼任	講師	清水 貴裕 (38)	平成25年4月	心理学	兼任	講師	清水 貴裕 (38)	平成25年10月	心理学	授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成25年度後期に就任予定年月を変更
兼任	講師	濱本 良一 (60)	平成24年4月	国際関係論	兼任	講師	濱本 良一 (60)	平成26年4月	国際関係論	授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成25年度後期に就任予定年月を変更
					兼任	講師	水野 智仁 (48)	平成27年4月	国際関係論	平成27年3月、濱本講師が本務校業務の都合で辞任のため、担当者の変更
兼任	講師	蒔田 明史 (57)	平成25年4月	環境と生態	兼任	講師	蒔田 明史 (58)	平成26年4月	環境と生態	授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成26年度前期に就任予定年月を変更 複数の教員の専門性を生かしてより質の高い授業内容とするためオムニバスに変更
					兼任	講師	片野 登 (67)	平成27年4月	環境と生態	平成27年3月、金田講師および日高講師が本務校業務の都合で辞任のため、担当者の変更
					兼任	講師	金田 吉弘 (53)	平成26年4月	環境と生態	平成27年3月、本務校業務の都合で辞任 複数の教員の専門性を生かしてより質の高い授業内容とするためオムニバスに変更
					兼任	講師	日高 伸 (64)	平成26年4月	環境と生態	平成27年3月、本務校業務の都合で辞任 複数の教員の専門性を生かしてより質の高い授業内容とするためオムニバスに変更
兼任	講師	渡辺 英夫 (56)	平成25年4月	日本史						
兼任	講師	長沼 誠子 (61)	平成25年4月	食文化論				平成26年4月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成26年度前期に就任予定年月を変更
兼任	講師	阿部 祐子 (51)	平成25年4月	異文化コミュニケーション論	兼任	講師	長沼 奈絵子 (40)	平成27年4月	異文化コミュニケーション論	平成27年3月、阿部講師が本務校業務の都合で辞任のため、担当者の変更

兼任 講師	Guita Youssefian (54)	平成25年 4月	英会話 1 英会話 2	兼任 講師	Randy kay Checketts (63)	平成27年 4月	英会話 1 英会話 2	平成27年 3月、Guita講師が自己都合で辞任のため、担当者の変更
兼任 講師	邊 姫京 (44)	平成25年 4月	韓国語 1 韓国語 2	兼任 講師	崔 壯源 (44)	平成26年 4月	韓国語 1 韓国語 2	平成26年 3月、邊姫京は本務授業の都合により辞任
兼任 講師	陳 風 (55)	平成25年 4月	中国語 1 中国語 2			平成26年 4月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成26年度前期に就任予定年月を変更
兼任 講師	佐藤 靖 (59)	平成25年 4月	スポーツと健康 1 スポーツと健康 2					
兼任 講師	中村 政人 (50)	平成25年 4月	美術の社会実践論					
兼任 講師	高橋 秀晴 (56)	平成25年 4月	日本語表現演習 日本文学					
兼任 講師	佐瀬 道則 (57)	平成25年 4月	起業論			平成26年 4月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成26年度前期に就任予定年月を変更
兼任 講師	名古屋 覚 (45)	平成25年 4月	英語による現代美術評論 1 英語による現代美術評論 2					
兼任 講師	港 千尋 (52)	平成25年 4月	写真基礎演習					
兼任 講師	阿部 邦子 (58)	平成25年 4月	西洋美術史			平成25年10月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成25年度後期に就任予定年月を変更
兼任 講師	北郷 悟 (60)	平成25年 4月	彫刻原論					
兼任 講師	伊藤 朋 (37)	平成25年 4月	映像デザイン基礎					
兼任 講師	加賀谷 憲吾 (34)	平成25年 4月	映像デザイン基礎					
兼任 講師	近藤 康洋 (30)	平成25年 4月	3D・CG表現演習 1 3D・CG表現演習 2	兼任 講師	近藤 康洋 (31)	平成26年 4月	3D・CG表現演習 1 3D・CG表現演習 2	複数の教員の専門性を生かした授業内容とするためオムニバスとしたが、当該非常勤講師のみで同等の授業が可能であり、また、授業の一貫性、継続性が保たれるためオムニバスから変更 平成26年 3月、黒沢光之と立花大輔は辞任
兼任 講師	黒沢 光之 (37)	平成25年 4月	3D・CG表現演習 1 3D・CG表現演習 2					
兼任 講師	立花 大輔 (36)	平成25年 4月	3D・CG表現演習 1 3D・CG表現演習 2					
兼任 講師	宮田 莊平 (47)	平成25年 4月	知的財産と運用					
兼任 講師	田中 健太郎 (49)	平成25年 4月	文化行政学					
兼任 講師	小野寺 康 (51)	平成25年 4月	都市デザイン論					
兼任 講師	今野 和夫 (63)	平成25年 4月	介護等体験実習			平成26年 4月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成26年度前期の授業開始時に就任予定年月を変更
兼任 講師	中野 良樹 (44)	平成25年 4月	教育心理学 1					
兼任 講師	森 和彦 (57)	平成25年 4月	教育心理学 2					
兼任 講師	柴田 健 (49)	平成25年 4月	教育相談	兼任 講師	野々口 浩幸 (51)	平成25年 4月	教育相談	教職課程認定申請にかかる指選により、「教育相談」について当初の3名から非常勤講師1名の担当に変更
兼任 講師	宮野 素子 (58)	平成25年 4月	教育相談					
兼任 講師	北島 正人 (40)	平成25年 4月	教育相談					
兼任 講師	原 義彦 (46)	平成25年 4月	生涯学習概論			平成25年10月		授業の配当年次と連動し、最初の授業開始時である平成25年度後期に就任予定年月を変更
兼任 講師	天野 一夫 (53)	平成25年 4月	博物館情報・IT論 博物館経営論					
兼任 講師	山本 奨 (53)	平成25年 4月	生徒指導・進路指導					

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画

変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

- ・「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
16	20	1	4	41	16	19	1	4	40	65	1	65	1
(16)	(20)	(1)	(4)	(41)	[－]	[△1]	[－]	[－]	[△1]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「－」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	芝山 昌也	自己都合退職（金沢美術工芸大学で平成26年10月付け採用）のため(27)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「(注) 専任教員の辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

認定課程のうち「彫刻基礎演習」「現代芸術論A（アーツ&ルーツ、景観デザイン）」の2科目の担当である芝山昌也准教授が平成26年9月30日付けで自己都合退職することとなったため、文部科学省に後任の教員予定者について「専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）」を6月に提出し、8月に審査の結果、適格である旨連絡を受けた。10月1日から藤浩志教授が専任教員として当該2科目を担当している。

教育研究審議会等で内容報告および周知を行い、さらに議事録を全職員に供覧周知したほか、平成26年9月に学内掲示板等で学生および教職員に周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<美術学部 美術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
平成25年4月に「ファカルティ・デベロップメント委員会」を設置

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
平成25年4月から開催している。委員メンバーは、理事兼副学長を委員長として、事務局長、教員4名の計6名の委員で構成し、他事務局職員が3名参加している。

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育研究活動の組織的改善に関すること。
- (2) 教員の教育研究活動に係る能力向上のための研究計画の立案、実施および分析に関すること。
- (3) 学生による授業評価の企画、実施および分析に関すること。
- (4) 学外者(卒業生を含む。)によるファカルティ・デベロップメントの評価に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、ファカルティ・デベロップメントの目的を達成するために必要なこと。

② 実施状況

a 実施内容(実施予定を含む)

- ・ 授業方法について研究会(メンタルヘルス的な知識を含む)
- ・ 授業アンケートの実施
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 大学内の教員又は外部講師による講義
- ・ 授業アンケートは、各授業の最後に実施し、集計後本人に連絡。改善策を検討させ提出させる方法で行う。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 新任教員等への研修会を実施
- ・ 各授業の最後に授業にアンケートを実施
- ・ その他、研修としてコンプライアンス研修などを実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 実施結果を踏まえ、授業改善策を検討させ提出させる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
平成26年度に開講する授業で実施、各授業の最後にアンケートを実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等
集計後本人に連絡。改善策を検討させ提出させる。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨、目的の達成に向け、中期計画等を策定し、進める事としている。
- ② 自己点検・評価報告書
各年度ごとに、年度計画に対する自己点検・評価を行う。
- a 公表（予定）時期
・平成26年度分を27年度評価委員会で評価後、公表予定。
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月頃を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
・認証評価年度および評価機関について学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (27年12月)